

令和7年度島根県原子力防災訓練への参加について

1 要旨・目的

島根県が実施する令和7年度島根県原子力防災訓練へ参加し、原子力災害時における情報伝達・避難者の受入手順の確認を行い、広域避難の実効性の向上を図る。

2 現状・背景

島根原子力発電所における原子力災害発生時には、島根県との協定に基づき、大崎上島町を除く県内22市町において、島根県内から住民の避難を受け入れることとしており、平成30年度以降、毎年度、島根県原子力防災訓練へ参加している。(令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、住民参加による県内市町への避難訓練は中止。)

今後も島根県から原子力防災訓練への参加要請があれば、協力する。

3 概要

(1) 実施主体

島根県

(2) 訓練参加日

令和7年11月29日（土）

(3) 参加自治体

尾道市

(4) 実施内容

島根県松江市（古志原地区）からバスにより避難する住民を、尾道市の避難所において受入

【参考】島根県原子力防災訓練 実施状況

	避難元（地区名）	避難先
平成30年度	松江市（忌部）	神石高原町
令和元年度	出雲市（大津、出西、伊波野、遙堪）	広島市
令和4年度	雲南市（加茂）	三次市
令和5年度	出雲市（久木）	安芸高田市
	雲南市（阿用）	東広島市
令和6年度	雲南市（木次）	三原市